

フェニキア・カルタゴ研究会

The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan

第2回 公開報告会

フェニキア・カルタゴ研究会は、2013年9月に発足した任意団体です。当会は、フェニキア・カルタゴ史に関する調査・研究を支援協力し、日本におけるフェニキア・カルタゴ史の発展・普及に寄与することを目的に活動しております。

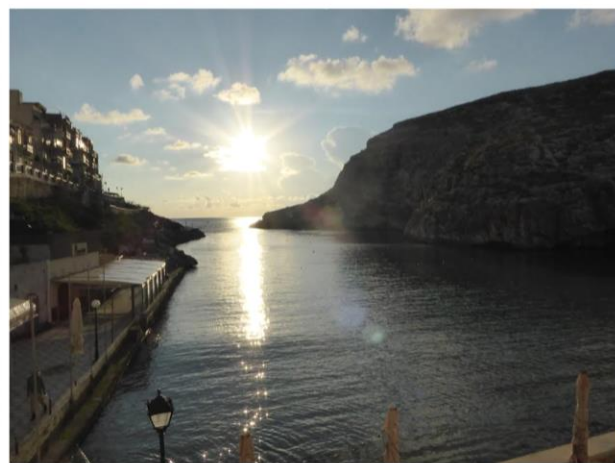
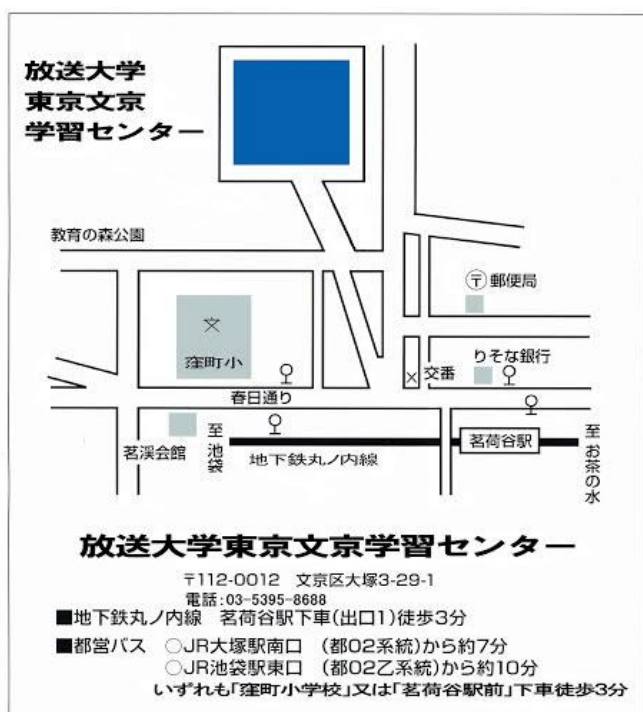
今回は、新たに2名のゲストスピーカーを迎え、より多角的に地中海におけるフェニキア・カルタゴ像について検討したいと思います。発表のあとにはトークセッションを設け、フロアの皆様を交えての意見交換も予定しております。是非、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム

- 12:30 - 開場
- 13:00 - 開会の辞 会長挨拶
- 13:10 - 発表①「マルタ、キプロスにおけるフェニキア・カルタゴ遺跡」 佐藤育子（日本女子大学）
- 13:55 - 発表②「衛星画像と地形データでみるフェニキア・カルタゴの都市の立地」小方登（京都大学）
- 14:40 - 休憩（15分）
- 14:55 - 発表③「カルタゴ衰退・滅亡後における西方フェニキア都市の動向」 青木真兵（関西大学）
- 15:40 - 発表④「古代ギリシア人の「植民」研究の新動向 -西地中海域を中心に-」
長谷川岳男（鎌倉女子大学）
- 16:25 - 休憩（10分）
- 16:35 - トークセッション
- 17:00 - 閉会の辞

日時：2016年3月13日（日） 13:00~17:00

場所：放送大学 東京文京学習センター2階 講義室2
地下鉄茗荷谷駅下車徒歩3分（下記地図参照）



ゴゾ島 シュレンディ湾 2015年3月撮影

★参加費 500円

★参加申込方法 参加をご希望の方は、準備の都合上
3月10日（木）までに下記のメール
アドレスまでご連絡ください。

★連絡先 isatou@fc.jwu.ac.jp（佐藤まで）